

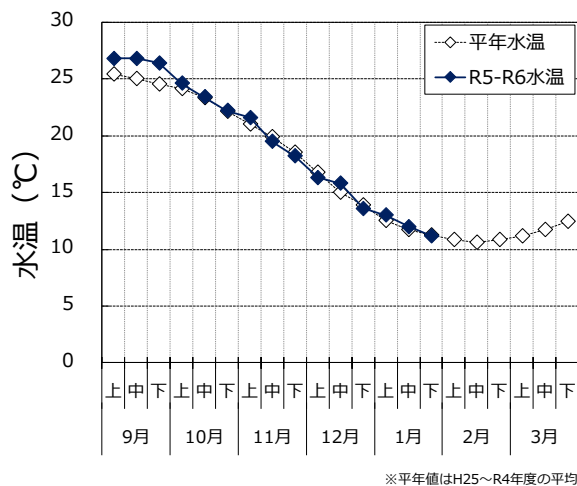
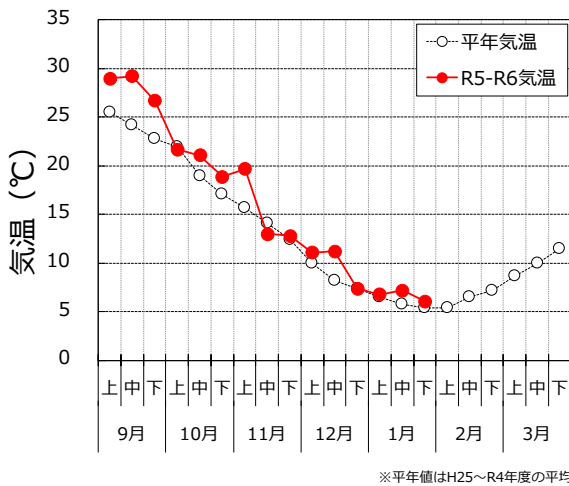
藻類養殖情報（令和6年2月号）

令和6年2月9日発行
 大阪府立環境農林水産総合研究所
 水産技術センター

○漁場環境

- ・気温（谷川）：1月上旬はおおよそ平年並み、中旬・下旬には暖かな日があり、それぞれ平年より1.4℃、0.7℃高めとなりました。
- ・水温（谷川）：1月上旬は平年より0.5℃、中旬は0.3℃程度高めに推移しましたが、下旬には急な降温がありおおよそ平年並みとなりました。

下記の水産技術センターホームページで谷川地先の水温情報を毎日更新し、1週間先までの水温の推移を予測しておりますのでご利用下さい。URL：<https://www.knsk-osaka.jp/suisan/gijutsu/suion/index.html>

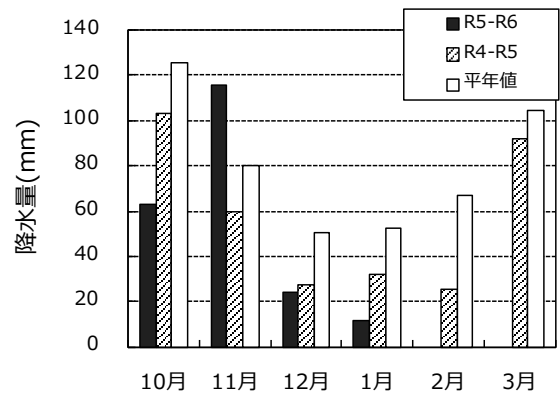


旬別水温・気温の推移（谷川地先9時）（平年値はH25～R4年度の平均）

- ・降水量（谷川）：1月の降水量は12mmと平年の4分の1程度となりました。昨月から引き続き平年と比べてまとまった雨が降る日が少ない状況が続いています。

・今後の気温降水量予測（気象庁季節予報）

1月3日～3月2日の予報期間中については、寒気の影響を受けにくいと、向こう1か月の気温は高く、低気圧や前線の影響を受けやすい時期があるため、降水量は多いと予報されています。また、日照時間は平年並みか少ない見込みです。



降水量（谷川地先）
 （平均値はH25～R4年度の平均）



○漁場水質調査結果（1月31日採水）

- ・塩分：塩分は31.17～32.75でした。
- ・リン：各地区のリン濃度は0.37～1.58 $\mu\text{mol/l}$ でした。
 ワカメ養殖：いずれの地区においても十分な濃度があります。
 ノリ養殖：尾崎・西鳥取両地区で十分な濃度があります。
- ・窒素：各地区の窒素濃度は4.32～16.70 $\mu\text{mol/l}$ でした。
 ワカメ養殖：谷川地区では4.32 $\mu\text{mol/l}$ とやや低めですが、
 ワカメの生育には十分な濃度です。
 ノリ養殖：西鳥取地区では6.50 $\mu\text{mol/l}$ と警戒濃度を下回る
 濃度となっています。

| | ワカメ | ノリ |
|--------------------------|-----|-----|
| リン ($\mu\text{mol/l}$) | 0.1 | 0.5 |
| 窒素 ($\mu\text{mol/l}$) | 2 | 10 |

藻類色落ち警戒栄養塩濃度
 （この数値を下回ると色落ちの可能性あり）

※青字はノリの色落ち警戒濃度以下、赤字はワカメの色落ち警戒濃度以下

| 漁場 | 田尻 | 岡田浦 | 尾崎* | 西鳥取* | 下荘 | 淡輪* ² | 谷川 |
|--------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| 塩分 (psu) | 32.03 | 32.00 | 31.17 | 32.08 | 32.16 | 31.21 | 32.75 |
| リン ($\mu\text{mol/l}$) | 0.72 | 0.37 | 0.94 | 1.58 | 0.48 | 0.51 | 0.50 |
| 窒素 ($\mu\text{mol/l}$) | 7.07 | 8.83 | 16.70 | 6.50 | 5.92 | 10.22 | 4.32 |

*尾崎・西鳥取地区にはノリ漁場があります。

*² 淡輪地区は海洋センター前で採水しています

○赤潮発生状況

1月31日・2月1日の海洋観測では赤潮の発生は確認されませんでした。また、養殖場周辺にも栄養塩を低下させる原因となる珪藻類は少ない状況です。最近の大阪湾内の赤潮発生状況については下記の水産技術センターホームページに掲載しておりますのでご参照下さい（冬季は2週間に1回更新）。

URL：<https://www.knsk-osaka.jp/suisan/gijutsu/akashio/akashio/sokuho.html>



○養殖状況（1月31日）

- ノリ：尾崎・西鳥取両地区とも、色は良いものの生長が芳しくなく、摘採可能なサイズになるのを待ちながら、板海苔の生産を行っている状況です。1月中も数回しか摘採作業は行われませんでした。
- ワカメ：一部漁場では80 cm程度にまで生長し、生わかめの出荷が行われていますが、漁場によっては生長が遅れています。谷川地区では1月下旬に養殖が開始されました。

○病害異常

ノリ、ワカメともに漁場によって生長が遅れている状況が見受けられました。今後の降雨次第で栄養塩供給があり復調が期待されます。また、植食性魚等による食害を疑い、1月いっぱい尾崎地区のノリ養殖場、下荘地区のワカメ養殖場に試験的にモニタリングカメラを設置して観察を行いました。強度の食害が起きているような状況は確認されませんでした。養殖場周辺に多数のクロダイ等の魚影やカモ類が視認される際にはお知らせください。

※ノリ・ワカメの異常が疑われる際には、水産技術センターへ葉体を持参して頂ければ、随時検査します。